

# 居合道だよ

令和5年9月 第206号号





## はじめに

福岡武道館居合道部 野田 尚徳

立秋を過ぎたとはいえ、いまだ残暑厳しきこの頃でございます。初めて居合道だよりの、文章を書かせていただきます。私の場合は、居合道部の事務局員として走り回っている印象があるのではないかと思います。

少し前になりますが、

5月21日(日)クリエイイト篠栗会議室にて、令和5年度居合道部理事会・居合道部総会が無事、執り行われました。

居合道部の一年間の事業計画や予算執行の重要な案件が、承認されましたの

で、会員の皆様には 年会費や剣道連盟の正会員費で、大変恐縮なお願いをさせていただきました。ご協力誠にありがとうございました。

さて、9月は、3日の福岡県居合道審査会、24日は福岡県居合道伝達講習会と事業が目白押しです。コロナの感染状況は、あまりニュース

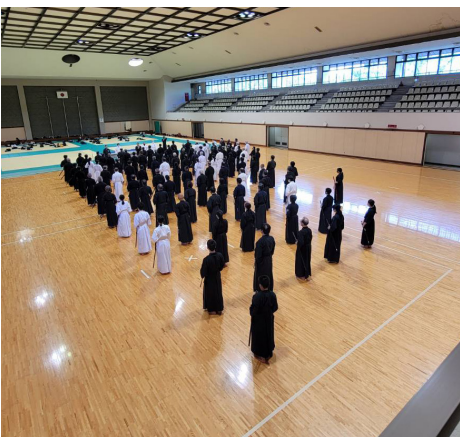
では取り上げなくなりました。全剣連からの面マスク着用について。のお知らせは、着用は個人の判断に委ねるそうですが、剣道ではもうしばらくは着用して模様見のようです。早く決着がついたら良いのですが…。

私事で恐縮ではございますが、昨年11月に居合道七段の末席に加えていただきました。嬉しいよりもこれからことを考えますと身の引き締まる思いでいっぱいです。多くの会員の方々からお祝いのお言葉を頂戴いたしました。この場をお借りいたしまして、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

一所懸命に頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



# 福岡県居合道講習会



# 福岡県居合道講習会



## 昇段者の声

<居合道七段昇段に際しての所感>



糸島錬心館 松嶋 幸一

この度、7月21日金曜日に栃木県にて実施されました居合道七段審査会におきまして、居合道七段に昇段させていただきました。

井手先生、國方先生、川路先生をはじめ、諸先生方、剣友の皆様方の御指導、御鞭撻のおかげであると心より感謝している次第であります。

私が居合道をはじめたのは今から約20数年前の大学生の時でした。大学から車での

帰り道、たまたま踏切の手前で列車の通過を待っているときに、現在の所属道場「糸島錬心館」の前で止まり、当時、全日本居合道大会前の一人稽古をしている師匠(井手友太範士八段)の演武を見た事がきっかけでした。それを見た瞬間私の体に電流が走りました。「なんだあれは！素晴らしい！私もあの先生のようにになりたい！」即座に道場の門を叩きましたが、全日本居合道大会前でご自身が福岡県七段代表として出場されるということで「2か月後にまだ入門する意思が固ければ訪ねてきなさい」と言われ、後程入門を請い、今に至っております。当時は井手克彦先生、井手友太先生と私、私の従弟の筒井と4名での稽古でしたが半年後には剣道の指導で道場に來ていた廣房先生等、少しずつ門弟も増えていき、現在では定例稽古日に駐車できないほど多くの門弟であふれています。

大学時代に居合道を始めて特に井手先生より言われ続けてきたことは「居合道とは斬ることであり、特に下半身(左足・腰)が重要である」という事です。審査前の最後の稽古の時、今まではほとんど何も言わなかった先生が「お前は何をしているのだ。もっと敵を意識してケンカ腰で居合をせんか！いろいろ考えるな。業のどうこうではない。そのような<sup>つら</sup>面では審査員はお前の居合を見ることもせん！」と言われ、ハッと我に返り敵を意識し、それだけを考えてその後の審査稽古をした時「少しは良い<sup>つらがま</sup>面構えになった。もう稽古はせんで良い。その意識を持ったまま審査に望め。」激励され審査に望みました。審査のことはあまり覚えてません。ただただ面前の敵だけを意識したのみです。

今まで居合道を続けてきて仕事の都合等で2年以上稽古ができない時期が数回ありましたが、これまで居合道を続けてきて本当に良かったと思っています。今までやってきて「居合道の稽古を継続して行う」という事が最も難しいと感じました。しかし、自分なりの目標をもって継続し意義ある人生にしたいと思っています。

居合道七段に合格しましたが今まで以上に研鑽を重ね、段位に恥じることはないように精進していきます。皆様の変わらぬ御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

以上

# 9月・10月の予定

9月3日	福岡県居合道段位審査会（級・初～五段）	福剣連	福岡武道館
24日	福岡県居合道伝達講習会	福剣連	福岡武道館
10月21日	第58回全日本居合道大会	全剣連	東京武道館

## 編集後記

9月3日に福岡県居合道段位審査会が行われる。暑い夏みなさん稽古に励まれたことでしょう。

よく審査前に言われるのは「いつもの稽古通りやってください」といわれる。

至極当たり前の言葉なのだが、これが意外と奥が深い。まず言葉通り「いつも通り」できればいいのだが、手は震え、心臓の鼓動はフルスロットルでレッドゾーン近くに達してとてもじゃないが「いつも通り」じゃない。

そんな時にどう自分を落ち着かせるのか？色々工夫が必要です。例えば黙想をしてみる、ストレッチする、帯への刀の刺さり具合を確認する、空き時間の稽古を思い切りやってみる、など。結局いつもやっているように準備をすればいいのですが、場が違う、周りにいる人が違う、空気感が違う！もちろん何も動じない人もいらっしゃるだろうが、順番を並んで、「入場」の聲がかかった瞬間からドキドキがMAXになり、やがて心臓が口から出そうになる。

はじめの礼をしながら、「何本目抜くんだっけ？」やら、途中で「あれ前の技抜いたっけ？」など、いらぬことを考えてしまい、いつもは絶対やらないことをやってしまう。

だから、みんな！「大丈夫だよ！できるできる！練習通り！」と自分を励ましてあげてくださいね。

只今、我々福岡県剣道連盟 居合道部では半年にわたる体験教室を開催しております。いよいよ今月末が締め切りです。

刀に興味ある方、何か武道を無理なく始めたい方、小学生のお子様からご年配の方、男性女性関係なく参加できます。

居合道は自分と同じ姿形を想定して、斬る！つまり仮想の敵は自分。自分の嫌いなところやコンプレックス、弱い自分と色々有ることでしょう。そんな自分を斬り倒して、ポジティブな自分に生まれ変わりませんか？

居合道の先輩方は、明るく楽しく愉快な方ばかり！今まで負けてきたけどこれからは勝つ！と決心を固めたかたはどうぞお申し込みを。ご参加お待ちしております。

### 「居合道初心者体験教室」

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第206号 令和5年9月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW